



問

待たせない書かせない親切な受付窓口を
新設すべきについて

答

システムの導入については、
費用対効果や先進地の取組を注視していきたい（町長）

問 最近、市役所などにおいて「書かない窓口」を設け、各種証明書・住民票・戸籍謄抄本・印鑑登録・住民異動届などの手続時に、申請書への記入が不要な窓口サービスを実施しているところが見られます。

職員がマイナンバーカードや運転免許証などにより、本人確認を行い、申請内容や発行枚数を口頭で聞き取り、その内容を直接パソコンに入力します。

必要事項が記載された電子申請書が窓口のパソコン画面に表示され、申請者が内容を確認・署名し完了するものです。県内では深谷市やふじみ

野市、鴻巣市などで行われています。

私、先日、税務署に確定申告に行きました。税務署の職員が手際よくパソコンに入力してくれました。私は全てお任せでした。一つ一つ税務署の職員が教えながら確定申告書を私に作成させるのは非効率なので多分作成してくれたと思います。町でも同じではないかと思えます。

たまに行う申請や届出は、慣れておらず時間もかかり大変です。一方、町の職員は日常的に行っている受付業務で手慣れており、またデジタル化が進み利便性も向上しています。待たせない書かせない



親切な受付窓口を新設し、住民の利便性の向上や職員の業務効率を向上させたらよいと考えます。

町長

提案のシステム導入については費用対効果や先進地の取組を注視していきたい。また、マイナンバーカードの利便性向上も含めデジタル化について、調査・検討していきたい。

問 新型コロナウイルスの感染状況に関する現状と課題について

問

原則自宅療養では家庭内感染が大いに懸念されます。町独自に希望される方に宿泊療養ができるような対策、例えば空き家やアパートの借り上げなど小さな町だからこそできる臨機応変な対応もあるのではないかと。今後、第7波もあり得ます。感染者のうち、希望される方に家庭内感染を防止する等の観点から、隔離施設の提供も必要ではないか。

町長

家庭内で看病する際の感染対策が難しく、防

止策としては部屋を分ける、感染者のお世話は限られた方で行う、マスクの着用、小まめな手洗い、共有部分の消毒等の8つのポイントを周知しています。特に小さいお子さんが感染した場合、部屋を分けることや適切なマスクの着用が難しいため、家庭内感染が増加する要因となっています。

宿泊療養施設については、当町には町営住宅がありませんが、第7波もないとは限りません。何が可能なのか、よく研究していきたい。





問 1万人を維持するための人口減少抑制の地域づくりと各種施策・政策等について

答 県庁内に部局横断の美里町支援チームが設置され、伴走型で人口減少抑制策を推進します（町長）

問 コロナ禍の中、町内では3回目のワクチン接種が行われておりますが、多くの感染が発生し増加の一途であります。油断せずにコロナ感染対策を継続したいと思

います。初めに、「いかに人口減少を食い止めるか」という人口減少抑制に資する地域づくりについてお聞きします。例えば、美里町定住促進条例では、令和元年度から令和3年度までに32件、34件、35件と安定した移住結果です。若者呼び込むための各種施策や安心して子どもを産み育てられる環境の質のさらなる向上について答弁を求めます。

町長 若者呼び込む上で重要なことは、仕事があること、子育てをしやすいことだと考えます。若者の定住にもつながる働き場の確保のため、産業団地の整備等、新たな雇用創出に努めてきました。また、起業したい方の支援も引き続き実施します。新たに令和4年4月から、福祉課に子ども家庭総合支援拠点を設置します。必要な情報提供など子育て包括支援センター等と連携し、家庭に寄り添い、細やかな支援を行います。

問 住宅地創出への支援、転入希望者への住宅支援対策等についてお聞きしま

す。都市計画マスタープラン作成の都市計画法等について、また、農地から宅地化への各種施策、県への働きかけ等併せて答弁を求めます。

町長 寄居スマートICが開通したことにより、不動産研究機関や大手開発事業者によると、当町は、鶴ヶ島IC周辺などと競合する首都圏の一部を構成する地域となっているとのこと。産業用地・住宅地等、大きな市場に上場されたということ。地価や周辺環境などから産業用地や住宅地としても十分魅力があると考えます。

住宅地の供給促進としては、空き家など宅地化されている物件の流動化と新たな宅地開発促進の2つの方法があります。ゼロ・カーボンシティ宣言をした当町にふさわしい住宅の建設を促進するために、土地分譲、建築条件付土地分譲、売建を可能とすることが求められます。このような住宅開発に係る課題を解決する手法として、現在取り組んでいるスーパー・シティプロジェクトの中核となる都市計画法に基づく用途地域の設定で、商業系、産業系だけでなく、住宅系の用途地域も設ける計画です。

都市計画マスタープランの策定と合わせ、今年度から農業振興地域の変更にしても進めています。これらの実現には、県の協力が不可欠であり、埼玉版スーパー・シティプロジェクトに位置づけ、県の募集にエントリーしたところ、最優先で採択され、県庁内には既に部局横断の関係6課で構成された美里町支援チームが設置され、共に伴走型で全力の支援をいただけること、大きな期待を寄せています。

○その他の質問

- 1級河川に架かる橋梁の安全点検等について
- 沼上地区に架かる見馴川橋の撤去計画等について
- 十熊谷橋の安全性と拡幅等について





問 新たなまちづくりについて

答 都市計画という新たな手法によるまちづくりが、最良であると考えています（町長）

問 令和4年から町の核となる拠点整備、カーボンニュートラル、企業誘致、健康づくりを重要政策として推進し、心身ともに美しい里のまちを目指した新たなまちづくりを進めていくとありました。そこで伺います。

- ① 昨年12月に断念した地域活性化施設について
- ② 健康づくりの重点政策について
- ③ 障害者にやさしいまちづくり（公共施設での手話、本市では今年度から、職員向けに手話教室を実施するとお聞きしています）、以上3点お聞きします。

町長 ① 道の駅を想定した施設につきましては、一旦立ち止まることとなりましたが、都市計画という新たな手法によるまちづくりが、町にとってより最良であると考えています。住民一人ひとりが誇りを持って暮らせる美しい里という将来像の実現に向かい、引き続き取り組んでいきます。

② 健康づくりにつきましては、令和元年度から4市と連携し、5か年事業として飛び地連携型の健康づくり事業を実施しています。事業の主軸となっているミムリン健幸ポイント事業については、現在3000人を超える方に参加

をいただき、生活習慣病や介護予防と医療費・介護給付費の抑制に向けて取り組んでいるところです。

③ 障害者にやさしいまちづくりにつきましては、地域の中で障害をお持ちの方が安心して暮らせるよう、障害者福祉施策として社会参加の自立の促進、福祉サービスの充実に取り組んでいます。その取組の一つとして、相手の立場に立った丁寧な窓口対応を行うため、福祉課の職員は手話講座に参加し勉強しています。しかし、福祉制度の情報を正確にお伝えすることは難しいのが現状であります。そこで、タブレットを用い

た遠隔手話通訳サービス、いわゆる「みえる通訳」を令和4年度より導入します。このサービスは、タブレットを通じてテレビ電話方式で通訳オペレーターとつながり、手話の有資格者の質の高い手話サービスを提供することができます。また、手話だけではなく、英語、中国語、ベトナム語など25か国の言語にも対応しており、いつでも安心して窓口サービスを受けることが可能となります。



健康づくり

住民が自身の健康に関心を持ち続け、楽しみながら心も幸福に満たされる美しいまちづくりを目指します。





問

希望する美里住民へ抗原検査キットの配布ができないか

答

埼玉県でのPCR検査等無料化事業をご案内しています。(町長)

問

コロナウイルスの感染症は、1波から6波に向かつて棒グラフの波は大きくなるばかりです。今、進行中のオミクロン株は、比較的軽症と言われているようですが、途方もない患者数ゆえ、死者が続出しているのが現状です。今日・明日から、できることを進め、コロナウイルス感染症の被害を最小限に抑えるべきです。

また、希望する美里住民へ抗原検査キットの配布ができないか伺います。

町長

本庄保健所から自宅療養者の個人情報提供され、ご希望によりパルスオキシメーターや食料品、アルコール消毒液などの衛生用品を自宅に届けています。

支援制度の資料をお渡ししても、情報量が多く分かりにくいものになってしまつて考えていますので、個別に連絡した際に聞き取りを行い、関係するところへつなげるようにしています。

町からコロナウイルスの陽性者へ届けられる臨時の食料及びパルスオキシメーター等の援助物資の中に国、県、美里町より受けられる支援制度を伝える文面の手紙を加えられないか。

PCR検査または抗原定性検査を希望する方には、埼玉県のPCR検査等無料化事業

オンライン学習について

問

コロナウイルス感染症の陽性者、濃厚接触者、その家族、熱、風邪の症状が見られる家族と同居している生徒が通学できなくても、クラスとオンラインによる学習への参加ができないか。

昨年、学校向けに抗原検査キットが配られました。抗原検査キットの消費状況は。

教育長

小学校では、陽性者や濃厚接触者となった児童に対し、保護者の希望により、タブレット端末の貸し出しに対応しています。

また、新型コロナウイルス以外の理由で長期欠席をしている生徒にも、タブレット端末を貸し出している事例があり、オンライン学習に対応でき学習の遅れが生じないよう配慮し、感染状況に応じて適切に対応をしています。

抗原検査キットは9月頃に50個配られました。各小学校へ10個ずつ、中学へ20個です。唾液検査型ではなく、鼻の中に入れる綿棒タイプです。小学校4年生以上は保護者の

同意の上、抗原検査キットを使ってもよいことになっていますが、1つしか使用していません。





問 ごみの減量対策について

答 減量化目標を含む環境基本計画の策定を進めています（町長）

問 平成12年に公布された循環型社会形成推進基本法では、循環型社会の形成について基本原則を定め、国、地方公共団体、事業者及び国民の責務を明らかにするとともに、循環型社会の形成に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的とする

とあります。また、第5次美里町総合振興計画後期基本計画では、ごみの減量とリサイクルの推進として5項目挙げられております。住民の消費生活が豊かになり、多様化するにつれて、一般家庭、スーパー、企業から排出されるごみの量は、年々増加傾向にあります。行政が

減量化を訴えるのと裏腹に、排出される廃棄物は増加傾向にあることは否定できない事実であります。行政としても減量化を訴えるだけでなく、抜本的措置を講ずるとともに、住民も関心を持ち、意識を高めなければ、ごみ問題は解決しないと思います。

町長 ごみの減量化対策につきましては、町の重要な環境施策の一つとして、今年度、美里町環境基本条例に基づき環境審議会を開催し、

ごみの減量化目標を含む環境基本計画の策定を進めているところであります。

問 リサイクル事業の認識を改めることについて。

町長 再利用可能な資源が、ごみとして排出されている状況が散見されます。国が定めた循環型社会形成推進基本法第6条では、廃棄物等

のうち有用なものを循環資源と位置づけ、循環的な利用が行われなければならないと規定しており、リサイクルを推進した上で廃棄物の排出を抑制する必要があります。

問 リサイクル活動推進奨励補助制度の啓発活動を進めていくべき。

町長 町ではこの取組に対して、紙類などの有価物

1キログラム当たりに対し、6.3円の奨励金を交付しているところであります。それぞれ回

収方法が異なりますが、ごみの減量化及び資源再生利用の考え方については目的が同じであり、環境に対する機運の高まりが期待できますので、今後も啓発活動を継続していきます。

問 生ごみの堆肥化には、微生物が分解する処理機が不可欠です。このような機種は高額になるため、購入費補助額の見直しについて。

町長 食品ロス、生ごみについてですが、自家処理を促進し減量化を図る目的で美里町ごみ処理容器購入費補助金を定めています。コン

ポストは生ごみを分解処理するものですが、多くの家庭で

は使い勝手が悪く、使われていないように思います。また、電気式生ごみ処理機は、乾燥させるものが主流ですが、補助金の増額も一つの方法であると考えます。

○その他の質問
●小山川クリーンセンターへの負担金について



分別回収することにより、廃棄物になることを抑制し、循環的な利用が行われることを促進するよう努めましょう。





問 美里町の中山間地域と
獣害対策について

答 山の下刈りイベントや保全のための間伐
魅力ある資源として活用できないか考えています(町長)

問 美里町の中山間地域、里山は、国道254号の南側であり、獣害も多く、所有者の高齢化も進んでい

ます。また、獣害により耕作農地も少なくなっていると思

います。駆除に力を入れる考えはありませんか。 猟友会も、高齢化が進んで

町長 獣害対策につきまして

は、鳥獣の捕獲を強化するとともに、里山の景観維持や環境保全に取り組み、獣が集落や農地に出没しづらい環境の整備が必要であると考えています。令和4年度から



は、山の下刈りイベントや保全のための間伐ができないか検討するとともに、里山体験により里山を魅力ある資源として活用できないか考えています。

猟友会の若い会員さんの育成は、前からずっと課題でありますので、育成をしながら市町村を参考に何らかの対策を考えていきたいと思

問 辺地対策事業債について

辺地債では、環境対策、観光事業として山の整備、観光トイレ等があれば地

方活性化につながると思

町長 但良田地区には、辺地対策事業債の活用が可

能です。既にどんなことが可能か各課に指示し、事業計画を策定中です。山火事を防ぐ防火帯を兼ねたハイキング道の整備、防火水槽や観光トイレの設置、見晴らし台や町道の整備など、今後も森林環境譲与税の活用と併せて、里山を資源として活用する研究をしていきます。

問 但良田特産センター運営について

但良田特産センターは、国県からの補助金で建て

ていただいた建物です。運営委員会は、当初の目的であ

ります販売を通して地域の活性化、地域に貢献すると運営委員長は言っております。ハイキング客の憩いの場として

町長 特産センターにつ

きましては、運営委員会が実質は運営していますので、我々としては推移を見守って



いたところですが、町としては今までも、これからも地域の核といえますが、観光の拠点でもありますので、ハイキング客ですとか、それから農産物を出荷してくれる人たちのよりどころというような形で、未永く存続していただけるとありがたいと、町としても個人的にもそういうふう





問 美里町への移住定住促進ガイドについて

答 問い合わせはありますが、まだ移住につながるまでは至っていません（町長）

問 コロナ禍も3年目を迎えて、生活様式も働き方も変わり、ワーケーション、リゾートテレワーク、2拠点生活、車で流動的に生活するバンライフなどの様々なライフスタイルを望む方が増えてきました。その中で美里町では移住定住の政策の一つに、昨年、移住定住を考える方に美里町を知ってもらうための「みさとで彩る美しい生活 Beautiful Life」が発行されました。今現在の問合せや反響はどのようなものか、そして今後の展開や新たな制度で移住定住してもらうためのアイデアや企画

等ありましたらお聞かせください。

町長 今年度作成した移住・定住促進ガイドは、移住定住に関する施策の紹介のみならず、美里の自然や先輩移住者の写真を多く使用し、美里の魅力を感じてもらえるような冊子として作成いたしました。2月には埼玉新聞に取り上げていただきました。発行後、町に問い合わせがあり、移住施策に関する資料を送付しましたが、移住につながるまでは至っておりません。今後、寄居パーキングエリアにて町のPRイベントを計画しており、ガイドの配布やほかのイベントへの参加など、

さらなるPRを行ってまいります。議員におかれましても、町の魅力発信につきましても協力をお願いしたいと思っております。

問 片親世帯や外国人、今年度の4月1日から美里町のパートナーシップ宣誓制度の運用が開始されますけれども、「多様性に富んだLGBTQの方々なども含めた方々も住みやすい町なのだよ」と言えるような、新しいアイデアを出していただければと思っております。

町長 若い人、家族だけでなく、見てもらえるような仕掛けというのは、次の第3弾が多分あるのだらうと思っております。考えていかなければいけないことかなと思います。LGBTQ関係につきましては、なかなか難しい問題でもありま

すので、あえて言うのであれば、多様ないろいろな人たちが住めるような考え方を持つというところに取りあえずとどめさせていただければと思っております。

